



出かける時は常にテキストとプリントを!

UNITY 通関士講座、2年目の受講でした。

私は社会人として輸出に携わりながら、学生をしていました。通関士には以前から興味があり、大学でこの講座を知って申し込みました。2017年度は苦手を克服しきれず不合格となったので、2018年度は思い切って退職して勉強に集中し、全体図を理解してから要点を掴むという流れをより意識して学習しました。

社会人でも学生でも、仕事や試験などに左右され思い通りに勉強に取り組めない時もあります。それでも、土曜の講座を休まないリズムを作り、宿題を後に回さず、出かける時はカバンに必ずテキストやプリント類を入れていました。

先生は、法律ならではの堅い条文を、噛み砕いて分かりやすく教えてくださいました。質問のお返事も本当に丁寧で、メンタル面でのアドバイスも頂き、励みになりました。

わからなくなったり壁に当たったらそのままにせず、先生に相談したり、時には他の受講生とコミュニケーションして息抜きするなど、一人で抱えないことがモチベーションを保つのにおすすめです。

私は例年の合格点に届かず試験を終えましたが、基準の引き下げがあり大逆転での合格となりました。日々コツコツの努力は、自分の味方になってくれたと思います。ここで学んだことを、将来の仕事や別の勉強にも活かしたいです。

英語や海外が好きな人、貿易に興味がある人は、自分の可能性を広げるのに役に立つかもしれません。ぜひ挑戦してみてください!



最後まで諦めない心を持つ!

初めにこれからこの講座に参加するみなさんにいくつかお伝えしたいことがあります。

まず、この試験に合格するために、最後まで諦めない心を持つところです。半年間の勉強で何回も挫折することがあると思いますが、最後まで諦めずに自分を信じて頑張ってください。

次は木村先生が言ってくる試験についての勉強方法です。私も木村先生が教えてくださった方法をやり続けて来て、このいい結果に繋がりました。本当に木村先生に感謝しております。

そして、合格に近づくために、ただ練習問題と教科書の内容を覚えることではなくて、理解することです。ちゃんと理解しないと最後の科目もうまくいかないです。忙しい中に難しい資格を取るために大変と思いますが、将来の自分に後悔を残さないように頑張ってください。



2度目の挑戦で合格!

2度目の受験で合格しました。

1年目の敗因は、○×に取り組む時間が少なく法律の理解が浅かった事と、夏の暑さや、朝と夜どちらに勉強するのが自分に合っているのかなど、勉強のリズムを中々掴めずうまく体調管理ができなかった事だったと思います。

なのでまずは、平日仕事をしながらどのように勉強時間を確保するかを考え、往復の通勤での約 1 時間半と朝 1 ~2 時間早起きをし勉強時間を作りました。

まず法律の○×は、通勤電車内で 1 週間に 3~4 回は繰り返し解きます。

解説を見てもわからないものは後でテキストを見て確認するので、授業中に先生がおっしゃったことはしっかりテキストに書き込むようにしました。

また、間違えた問題に都度チェックをすると自分の弱い部分があるので、本試験前に役立ちます。

貨物分類を覚えるのも通勤時間を利用しました。

どちらも理解し覚える量が多いので、すきま時間などを使ってこつこつ少しずつ取り組むのがいいと思います。

計算や実務は、毎朝の勉強時間に取り組み、何度も繰り返し解けるようテキストへの書き込みはシャープペンなど消すことができるものにしました。

法律の勉強は初めてで覚えることも多いので、理解し身につけることは大変でした。

早起きする分睡眠時間を確保するため仕事が終わるとまっすぐ家に帰ったり、休みの日も勉強を優先するなどストレスも溜まりました。ですが、先生はメールでの質問にも丁寧に答えてくださり、こちらが理解できるまでとても根気強く教えてくださいました。

それぞれの理解度を分析して強化ポイントのアドバイスをくださったり、勉強方法の相談にも真剣に向き合い本試験までサポートして下さいます。

何人もの受講生を指導し、過去の試験データも分析されている先生のアドバイスを生かすことはきっと合格への近道になると思いますので、わからない事があれば相談してみてください。

決して楽な試験勉強ではないですが、合格すると大きな達成感が得られ、何より半年間一生懸命取り組んだ経験は自信になります。

社会人であれば特に、日々の生活に新たに勉強時間を確保することが難しいと思いますが、自分に合った勉強のリズムを早く見つけ、毎日少しずつでも取り組むことが大切だと思います。

本試験までの半年間モチベーションを維持し続けることは大変なので、時には気分転換をしながら合格に向けてがんばってください。



合格するための 3 つのポイント!

私は社会人で、メーカーの海外部門で仕事しています。輸出業務も行っており、以前より通関士の資格は気になっていて、将来転職時の可能性を広げたかったことと、通関に関する知識を増やすことは現在の仕事にも役立つと思い、通関士講座を受講することに決めました。

私の場合、他受講生の大半を占める学生さんたちと比べると、勉強に費やせる時間が少なかったと思います。受講し始めてすぐに、先生から「後手に回らないように」とアドバイス頂きました。

私が意識して取り組んだことは、本当に基本的なことになりますが、下記の 3 点です。

- ① 毎回の授業に出る（用事で 2 コマほど欠席したことがありますが、先生が個人的にポイントを説明してくださいました）。
- ② 毎回の小テストを大切にする。
- ③ 宿題は必ずする。

通関士の勉強は、想像以上に大変で、毎回の授業で進む範囲が広く、配布されるプリントが多く、一日でも授業を休むと後の復習が大変になると思います。私は、平日は家で座って勉強する時間があまり取れなかったので、片道 1 時間半の通勤時間にグッと集中して教科書や、今日のポイントのプリントを読んでいました。夏以降毎日 1 問解かなければいけない申告書は、早起きして、通勤前に 15-20 分間向き合う時間を作るように心がけました。時間を意識して問題を解く練習にもなったように思います。

それから、最初の意欲を持続させることはとても難しいと実感しました。もちろん、この講座を受講する以上、目的は「通関士試験合格」になりますが、それだけを考えていたら、本当に辛い日があるとします。私は、最初に挙げた 3 点だけは必ず守るようにして、しんどくなった時は少し気持ちを切り替えるようにもしてみました。仕事の影響もあり、元々海外との貿易は面白いと思っていたので、資格合格だけに捉われず、自分の知識を増やす意味で向き合う気持ちを持つようにもしました。それから、8 月頃には、毎日申告書の問題を解く課題がある上、その他の学習範囲も膨大になっている時期なので、気持ちが負けてしまって、教科書を読んでも集中できないことがありました。その時は、思い切って 2-3 日、教科書を広げず、自分の好きなことをして、きちんと睡眠を取り、リフレッシュしてみたこともありました。そうすると、うまく気持ちを切り替えることができたように思います。

私は、講座での模試や、日本関税協会の模試で合格点を取れませんでした。そのため、もう勉強を辞めたい気持ちにもなりました。そんな 1 番しんどい時期に、先生が講座の中で「自分を信じてがんばりなさい」とみんなに声かけしてくださいました。焦点を試験日に絞り、それまで自分のベストを尽くそうと思いました。それで、試験に不合格でも、悔いは残らないと思いました。

試験当日の輸出申告の問題で、答えは出せていたのに、焦りと緊張のためか、回答順を間違えてしまい、4 点を失いました。自己採点でそのことに気付き、試験に落ちたと思っていました。試験ではまさかと思うミスをしてしまうものだ痛感しました。ぜひ、回答（特に数字）の見直しはお勧めします。

2018 年の試験は、3 時間目の合格基準点が 50%に引き下げられ、運良くギリギリ合格できました。そんな私が大きなことは言えないのですが、最後まで諦めないこともとても大切なことだと思います。本試験では、必死に解いた計算問題と、輸入申告の課税額（2 点配点問題）で奇跡的に点が取れていました。

木村先生は、ポイントを分かりやすく教えてください、無駄のない学習法を教えてください。私は、講座以外の参考書は使用しなかったです。そのことも結果的に良かったのかなと思います（分かりづらい問題の再確認・復習などもできたので）。少しでも私のアドバイスが参考になれば、嬉しいです。